

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1



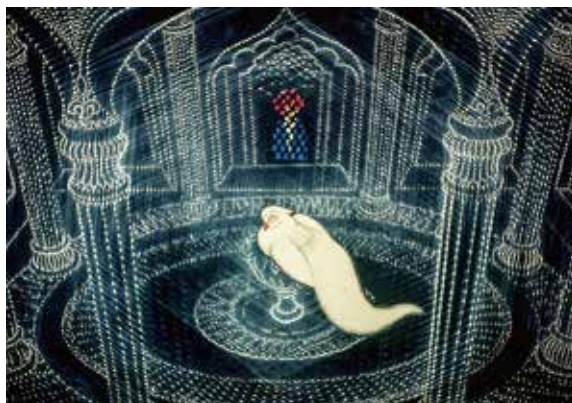
"Sombryuk" 『オオカミ』 監督：Polina Fyodorova(ポリーナ フョードロワ)
©Ltd Studio 'Ural-Cinema'



"VERGE" 『ヴァージ』 監督：Ching Tien Chu(朱 靖天)
©Ching Tien Chu



"Manivald" 『マニヴァルド』 監督：Chintis Lundgren(チンティス ルンドウグラン)
©National Film Board of Canada



"Paradise" 『パラダイス』(1984) 監督：Ishu Patel(イシュ パテル)
© National Film Board of Canada

世界が注目するアニメーション映画の祭典 グランプリ・ヒロシマ賞ほどの作品に!?

愛と平和の精神のもと、世界的なアニメーション映画の祭典として知られる第17回広島国際アニメーションフェスティバルがJMSアステールプラザ(広島市中区加古町)を会場に2018年8月23日(木)~27日(月)の日程で開催されます。同フェスティバルでは、世界88の国と地域から応募された2,842作品の中から選考審査を通過した75作品を公開審査し、グランプリやヒロシマ賞など各賞を決めるコンペティションが行なわれます。

フェスティバルのオープニングは長編アニメーション『この世界の片隅に』の上映から！ 魅力的な特別プログラムや多彩なサブイベントも盛りだくさん

同フェスティバルは特別プログラムも魅力です。今大会の国際審査委員である丸山正雄氏が制作の立ち上げから携わった長編アニメーション『この世界の片隅に』(片淵須直 監督作品)の上映をはじめ、今フェスティバルの国際名誉会長であり、公式ポスターも手掛けたクリヨウジ氏の短編作品特集や、同フェスティバルで唯一、グランプリとヒロシマ賞を受賞したマイケル デュドク ドゥ ヴィット氏を特別ゲストとして迎えるトークと長編作品『レッドタートル ある島の物語』ほか短編2作品の上映があります。また、エストニア最古の

アニメーションから現代エストニアのアニメーションを一挙上映するエストニア大特集など世界的に著名なアニメーション作家の作品や貴重な作品が楽しめます。さらに、アニメーション制作を学ぶ学生作品の紹介(エデュケーショナルフィルムマーケット)、子どもを対象にしたアニメーション制作体験のワークショップなどサブイベントも充実。18日(土)夕方には機運の醸成やPRのためパレードが本通り商店街で行なわれ、前日22日(水)には17:00から前夜祭が紙屋町チャレオ中央広場で開催されます。

第17回広島国際アニメーションフェスティバル

開催期間 平成30年8月23日(木)~27日(月)

会場 JMSアステールプラザ(広島市中区加古町4番17号)

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部(ASIFA-Japan)

公認 国際アニメーションフィルム協会(ASIFA/Association Internationale du Film d'Animation)

お問い合わせ先 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

TEL: 082-245-0245 FAX: 082-504-5658

E-mail: hiroanim@hiroanim.org ホームページ URL: http://hiroanim.org/



第17回広島国際アニメーションフェスティバル
国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)・米国アカデミー賞 公認
いよいよ開幕!

第17回広島国際アニメーションフェスティバル 主なプログラム(予定)

プログラム情報は、一部を抜粋して選びました。詳細は大会公式プログラムやwebサイト等をご照会ください。

コンペティション(公開審査) 大ホール 8/23~8/26

世界 88ヶ国・地域から応募された 2,842 作品の中から選考審査を通過した 75 作品を公開審査し、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞などを選定。観客が選ぶ観客賞も。最終日(8/27)に表彰式。



前回大会の様子

特別プログラム

◆長編『この世界の片隅に』片瀨須直 監督作品 大ホール 8/23 9:15~



今大会の国際審査委員である丸山正雄が制作の立ち上げから携わった作品。

◆In This Corner of the World『この世界の片隅に』(2016)
Sunao Katabuchi 片瀨須直監督
© ころの史代・双葉社/『この世界の片隅に』製作委員会

◆マイケルデュドクドゥヴィット長編作品『レッドタートル ある島の物語』ほか 短編 2 作品(上映とトーク) 2プログラム 大ホール 8/24 11:00~ / 13:00~



今映画祭で、唯一、グランプリとヒロシマ賞の両方を受賞されたマイケル デュドク ドゥ ヴィットを特別ゲストとしてお迎えする。自然と人間性を見つめた長編作品『レッドタートル ある島の物語』及び短編 2 作品『父と娘』(HIROSHIMA 02 グランプリ)、『お坊さんと魚』(HIROSHIMA 96 ヒロシマ賞) を上映し、監督からお話を伺う。

◆クリ ヨウジ 短編作品集(上映とトーク) 大ホール 8/24 15:00~



今映画祭の国際名誉会長であり、公式ポスターも手掛けたクリヨウジは、日本のインディペンデント・アニメーションの草分けとして、1960年代から国際的に高く評価され、現在も旺盛に制作を続けている。今年 90 歳を迎えるクリヨウジの活躍を祝い、ウィットと風刺に富んだ短編作品の一挙上映とトーク。

▲『LOVE』(1963) クリ ヨウジ監督 © Yoji Kuri

◎エストニア大特集(34プログラム)

エストニア最古のアニメーションから、現代まで、エストニアのアニメーションを一挙上映する大特集。これほど多くの作品をまとめて上映するのは世界でも初めてである。

◆長編『キャプテンモーテンとクモの女王』カスバル ヤンチス 監督作品 大ホール 8/27 9:15~



エストニアで最新の長編作品を上映。少年の成長を描く、秀逸な人形アニメーション。(アジア・プレミア)

◆Captain Morten and the Spider Queen
『キャプテンモーテンとクモの女王』
Kaspar Jancis カスバル・ヤンチス監督

◆作家特集 TV シリーズ、CM、ミュージックビデオ他 大、中、小ホール 8/23~8/27



エルベルト トゥガノフ、ヘイノ パルス等、初期の主な作家から、プリート パルン、レイン ラーマット、ウロピッコヴ、プリート テンデル等、今日のエストニアを代表するアニメーション作家まで、短編作品を特集するほか、TV シリーズ、CM、ミュージックビデオなど、エストニアのアニメーション界を一挙する。

▲『ビッグフィッシュ』(1980) レインラーマット監督 © Tallinnfilm, Estonian Film Institute

◎コンペティションの対象 75 作品の審査にあたる 5 名の国際審査委員が発表されました。

日本からは長編アニメーション映画『この世界の片隅に』のプロデューサー・丸山正雄氏も選出されました。
(敬称略) イシュ パテル (カナダ) プリート パルン (エストニア) オクサナ チェルカソワ (ロシア) イザベル ファヴェ (スイス) 丸山 正雄 (日本)

本通りパレード・前夜祭も開催!

第17回大会開催を祝い、大会ゲスト等を歓迎するとともに、大会機運を盛り上げ、広く周知等を図るため、歓迎イベントやパレード等を開催します!

●本通りパレード

【日 時】平成 30 年 8 月 18 日(土)
18 時 00 分から 18 時 30 分まで (雨天決行)
【場 所】木定楽器前 ⇒ 本通り ⇒ アリスガーデン
【参加者】ラッピー合唱団ほか 約 150 名

●前夜祭

【日 時】平成 30 年 8 月 22 日(水) 17 時~ 20 時 30 分頃
【場 所】紙屋町シャレオ中央広場
【内 容】フェスティバル応援 LIVE、大会公式応援ソング演奏、大会ゲスト紹介、歓迎演舞などのステージ、広島国際アニメーションフェスティバルの紹介展示、軽食・飲食等の販売等

特集2

この夏、広島はアニメーションが熱い！
キャンペーン 開催中！



この夏、広島市で17回目を迎える広島国際アニメーションフェスティバルが開かれ、国内はもとより、外国からもたくさんのファンが広島を訪れます。同時に美術館や商業施設等でアニメーションに関係した多彩なイベントが開催されています。「アニメーション」をキーワードにそれぞれのイベントをつなぎ、広島市全体でブームアップするキャンペーンを展開中です！



◆開催中（または開催予定）のアニメーション関連イベント一覧

第17回 広島国際アニメーションフェスティバル 開幕！！
8/23~27 JMSアステールプラザ

ポケモンセンターヒロシマ

7月1日～
そごう広島店本館6階

ポケモンスタンプラリー

7月14日～8月26日
紙屋町周辺

広島ゆかりのアニメーション

8月10日～8月15日
広島市映像文化ライブラリー

アーリーマン ～ダグと仲間のキックオフ！～

7月6日～
広島バルト11

やなせたかし展

7月14日～8月26日
ひろしま美術館

ポップラ劇場「この世界の片隅に」

8月18日
基町 POP'La(ポップラ) 通り

劇場版ポケットモンスター みんなの物語

7月13日～ TOHOシネマズ緑井 広島バルト11
109シネマズ広島 イオンシネマ広島
イオンシネマ広島西風新都

ジブリの大博覧会

7月21日～9月24日
広島県立美術館

『この世界の片隅に』マンガ原画展

7月22日～9月9日
呉市立美術館

ピクサーアドベンチャー

7月19日～8月29日
NTTクレドホール

この世界の片隅に 再上映

8月3日～ 八丁座、呉ポポロシアター
8月4日～ シネマ尾道、福山駅前シネマモード

未来のミライ - 細田守監督最新作

7月20日～ TOHOシネマズ緑井 広島バルト11
サロンシネマ 109シネマズ広島 イオンシネマ広島
イオンシネマ広島西風新都

この夏待望の再上映！
すずさんにまた会える！！



©このうの史代・双葉社/『この世界の片隅に』製作委員会

耳より情報はどんどん発信！

各イベント会場の入り口などで
撮影した写真や動画に

ハッシュタグ「#あにあつ」

をつけて、SNSで発信しよう！

Yuiyama Group

唯山会計事務所
(株)唯山会計センター
(有)ドリームプランニング
(株)ひろしま相続相談室

〒731-5127 広島市佐伯区五日市五丁目 9-16
TEL(082)923-1111(代) FAX(082)923-1124

<http://www.yuiyama.com/>
E-mail:info@yuiyama.com

特集3 映画「この世界の片隅に」 特集

■この夏、この世界の片隅に

広島・呉の街の記憶、体験の継承、平和を考えるきっかけとして、『この世界の片隅に』は着実に根付いているようです。公開から600日を超えても上映が続くなか、8月には広島・呉をはじめとする日本各地の多くの劇場で再上映が始まります。野外上映会や平和イベントでの上映も後をたちません。映画や原作マンガの評価もそれぞれ高まっていくでしょう。この夏、広島県内で行われる『この世界の片隅に』上映をまとめてみました。片淵須直監督、のんさん、尾身美詞さんの来広も楽しみです。

【劇場での再上映】※上映期間は変更になる場合もあります

- 八丁座 <https://johakyu.co.jp/schedule/month.html> 8月3日(金)～8月23日(木)
- 呉ポポロシアター <http://popolo1.web.fc2.com/> 8月3日(金)～8月16日(木)、19日(日)
- ★8月6日 八丁座と呉ポポロシアター 片淵須直監督、のんさん 舞台挨拶あり！
- ★8月19日 呉ポポロシアター 片淵須直監督 舞台挨拶あり！
- シネマ尾道 <http://cinemaonomichi.com/> 8月4日(土)～8月17日(金)
- 福山駅前シネマモード <http://www.furec.jp/fc/yoyaku.php> 8月11日(土)～8月24日(金)

【野外上映】

- ポップラ劇場 2018 市民野外上映会
<http://poplaparentsclub.web.fc2.com/pages/event.html>
日時：8月18日(土) 16時開場 ※雨天の場合は19日
会場：基町 POPLa(ポップラ) 通り (広島市中区基町 中央公園西側河岸緑地・基町環境護岸)
18:45～ スペシャルトークショー (※18日のみ)
片淵須直監督、尾身美詞さん (声優・径子役)
19:30～ 上映

※定員になり次第、事前参加申込みが締め切られている場合があります。



▲ポップラ劇場 2018 チラシ

★ついに長尺版の情報解禁！『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』2018年12月公開予定！ <http://ikutsumono-katasumini.jp/>

■おかえり、すずさん！ ～呉市立美術館「この世界の片隅に」マンガ原画展 開催～

すずさんが、この史代先生の「この世界の片隅に」マンガ原画が、呉に帰ってきた！

この先生による原画寄託を記念したマンガ原画展が開催されています。クラウドファンディングで展示経費の支援を募り、会期前日の21日には支援者限定内覧会も行われました。原画は、雑誌やコミックスで読むイメージを大切に2ページずつ額装され、雑誌掲載時とコミックス収録時で修正されたページは比較して見ることができるよう配置するなど、気を配った展示になっています。1階展示室では全48話から厳選した26話の原画と資料を同期展示、8月8日～27日の間は2階展示室も使ってほぼ全館で原画が展示されます。所蔵品を展示するコレクション展としての開催のため、一般300円で見るができます。何度も訪れて、印刷では分からない表現力を是非とも堪能してください。



▲翌日の会期開始日待つ呉市立美術館

別館のギャラリーでは応援企画としてファンアート展(7月21日～30日)も開催され、内覧会の日には県外からも多くのファンが訪れていました。その中には豪雨災害ボランティアをした後に帰途に着いた人たちもおられました。すずさんをはじめとする登場人物が物語の中で苦難を乗り越えて行く姿には、しばしば勇気づけられます。その気持ちを今度は、物語の舞台へ返しに来てくださったのだと思います。

物語と現実が、その境を越えて響き合い、共感が生まれます。舞台巡り・聖地巡礼と言われる観光に新しい形が根付こうとしています。そのファンのみなさんにも心からの感謝をこめて声をかけたい、「おかえり」と。

(文・写真/松浦妙子)



▲呉市立美術館入口

会期：2018年7月22日(日)～9月9日(日)
開館時間：10～17時(入館16時30分まで)
休館日：火曜(火曜が祝日・振替休日の場合はその翌日)
観覧料：一般300円、高校生180円、小中学生120円

- 呉市立美術館 (呉市幸町 入船山公園内)
- お問い合わせ 0823-25-2007 公式サイト <http://www.kure-bi.jp/>
- 公式 Twitter https://twitter.com/kure_bi

●Event Report



今年も開催！ ポップカルチャーひろしま 2018
世界につながる！ ポップで楽しいを ひろしまから



▲コスプレヤーの交流の様子(左・中央)(主催者提供)、おりづるタワー見学の様子(右)(主催者提供)

ポップカルチャーを通じ、国境を越えた若者達の交流をめざすイベント「ポップカルチャーひろしま 2018」が昨年に続いて今年も開催されました。6月16日(土)・17日(日)に旧日本銀行広島支店や合人社ウエンディひと・まちプラザ、頼山陽史跡資料館(庭園)の会場に、2日間で5,402人の参加者が交流を楽しみました。

「形のない音楽やポップカルチャーは多くの人と分かち合い、感動を生み出すことができます。この楽しいイベントで交流の輪を広げ、広島から世界へ、平和の願いを発信していくことを願っています」という共催のNPO法人音楽は平和を運ぶ・松尾康二理事長のメッセージで開幕。

今年は中国、香港、インドネシア、日本、韓国、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、アメリカ、ベトナムなど12以上の国・地域からコスプレヤーが参加し、ステージでのトークやパフォーマンス、一般参加者との交流に加え、おりづるタワーの見学も行いました。



▲安芸コミの様子(左)(主催者提供)、「ひろしまアニソン王」参加者熱唱の様子(中央)(主催者提供)、今井麻美さんトークショー(右)(主催者提供)

旧日本銀行広島支店会場のメインステージには人気声優の今井麻美さんのライブステージとトーク、司会にはラジオ番組やイベント等で活躍の中にかもとりかさん、広島出身の声優・木村優紀さんなど多彩なゲストが登場。広島だけでなく全国各地からファンが集まりました。また、アニメソングやボーカロイド、特撮、ゲームなどをテーマにしたカラオケ大会「ひろしまアニソン王」にも事前選考を通過した30組が参加。歌唱力とパフォーマンスの両面で会場を盛り上げました。さらにステージでは、アクターズスクール広島のメンバー達による元気溢れるステージで華を添えました。



展示会場では、同人誌・同人グッズ即売会「安芸コミ」(17日)や学生によるポップカルチャー作品展示が行なわれ、多くの参加者で賑わいました。

イベントの参加者からは、「広島でこういうイベントがあることがうれしい。前回(昨年)より良かった」という声や「アジア各国のお国柄のあるパフォーマンスが素晴らしい」という感想が聞かれるなど、ポップカルチャーをテーマにした交流イベントとの良さがたくさんの方々を受け入れられています。

◀イベントは大盛況！立ち見をする来場者も多数(主催者提供)

【名称】「ポップカルチャーひろしま 2018」【会期】2018年6月16日(土)～6月17日(日)
【会場】旧日本銀行広島支店 頼山陽史跡資料館(庭園) 合人社ウエンディひと・まちプラザ
【主催】ポップカルチャーひろしま 2018 実行委員会 【共催】NPO 法人 音楽は平和を運ぶ
【後援】広島県 / 広島市 / 広島県教育委員会 / 広島市教育委員会 / 広島市文化財団 / 中国新聞社 / 中国放送 / 広島テレビ / 広島ホームテレビ / テレビ新広島 / NHK 広島放送局 / 広島エフエム放送 / FM ちゅーピー 76.6MHz
【協力】穴吹デザイン専門学校 / おりづるタワー / 国際オタクイベント協会 / コスカレード実行委員会 / 総合学園ヒューマンアカデミー広島校 / NPO法人広島アニメーションシティ / 広島国際学院大学 / 広島メディア芸術振興プロジェクト会議

◆ Event Information

第17回広島国際アニメーションフェスティバル応援事業

広島ゆかりのアニメーション 上映会

広島とアニメーションとの関わりを再発見すべく、第17回広島国際アニメーションフェスティバルの応援事業として、原爆をテーマにしたアニメーション、戦後の広島の復興を描いた作品、広島出身の若手アニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを上映します。

「愛と平和」の精神のもと、1985年に始まった広島国際アニメーションフェスティバルは、国際交流と新しい都市文化の形成に欠かせないフェスティバルとして定着し、今年で17回目を迎えます。近年は広島をテーマにしたアニメーション作品が幾つも作られ、広島とアニメーションとの関わりが強く印象づけられるようになってきました。この上映会は、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして捉えなおす試みです。

期間 2018年8月10日(金)～15日(水)

場所 広島市映像文化ライブラリー (広島市中区基町3-1) TEL 082-223-3525

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

鑑賞料 大人510円、シニア(65歳以上)250円、平成生まれの方は無料

主催 NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

協力 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会

☆8月は平成生まれの方は、広島市映像文化ライブラリーの映画鑑賞料が無料になります！この機会に、ぜひご利用ください。

8/10(金) ①10:30～②14:00～③18:00～
[2作品・93分]『ピカドン』(1978[昭和53]年 スタジオロータス
10分 カラー 16mm 演出/木下蓮三)『はだしのゲン』(1983[昭和58]年 ゲンプロダクシ
ョン 83分 カラー 35mm 監督/真崎守)8/11(土・祝) ①10:30～②14:00～
[2作品・86分]『太陽をなくした日』(2002[平成14]年 19分 カラー
16mm 監督/前田稔)『クロがいた夏』(1990[平成2]年 ゲンプロダクシ
ョン、中国放送 67分 カラー 35mm 監督/白土武)

8/12(日) ①10:30～②14:00～[2作品・114分]

『この男子、宇宙人と戦えます。』(2011[平成23]年
コミックス・ウェブ・フィルム 28分 カラー DVD
監督/山本蒼美 作品提供/コミックス・ウェブ・フ
ィルム)『かっ飛ばせ！ドリーマーズーカープ誕生物語ー』(1994
[平成6]年 広島映画センター 86分 カラー
16mm 監督/兼森義則)8/15(水) ①10:30～②14:00～③18:30～
『黒い雨にうたれて』(1984[昭和59]年 ゲンプロダク
ション、土田プロダクション 94分 カラー 35mm
監督/白土武)

広島新銘菓

生もみじ



にしき堂

比治山大学
短期大学部
美術科

50

since 1967

美術科は設立から50年を越えました。これまでに3700名の卒業生を送り出した美術科は、これからも広島市と協力して新しい才能を発掘、育成していきます。

客員教授こうの史代原作
「この世界の片隅に」絶賛、上映拡大中
広島人必見！マンガ・キャラクターコース
メディア芸術はここから

映像・アニメーションコース



©Uehara

発行日：2018年8月10日 発行部数：5000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO法人広島アニメーションシティ (HAC) デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川卓詩研究室・山本 千晶

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局

〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口重徳研究室内

<http://hac.or.jp> Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2680